

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2001-136467(P2001-136467A)

【公開日】平成13年5月18日(2001.5.18)

【出願番号】特願平11-314289

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 E

B 4 1 J 29/38 Z

G 0 6 F 3/12 W

H 0 4 N 5/91 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0104

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0104】

プリント出力処理部83は、具体的には例えば、LUT(ルックアップテーブル)による変換処理、積和演算等が高速に実行できる演算回路を利用した演算処理、高速演算処理アルゴリズムを持つソフトウェアによって実現する演算処理、及び/又は専用変換回路による処理等で実現されている。このように、プリント出力処理部83において演算処理を順次実行する場合には、入力される画像データにおける各データのビット数と同一のビット数で演算処理を行うと、各データの有効精度が悪化してしまう場合が多い。したがって、プリント出力処理部83では、入力される画像データのビット数に対して、演算処理の途中で、各データのビット数を増加させ、演算処理の最終段階において、増加させたビット数を元の状態に減少させることが望ましい。これにより、有効精度の悪化を回避することができる。

【手続補正2】

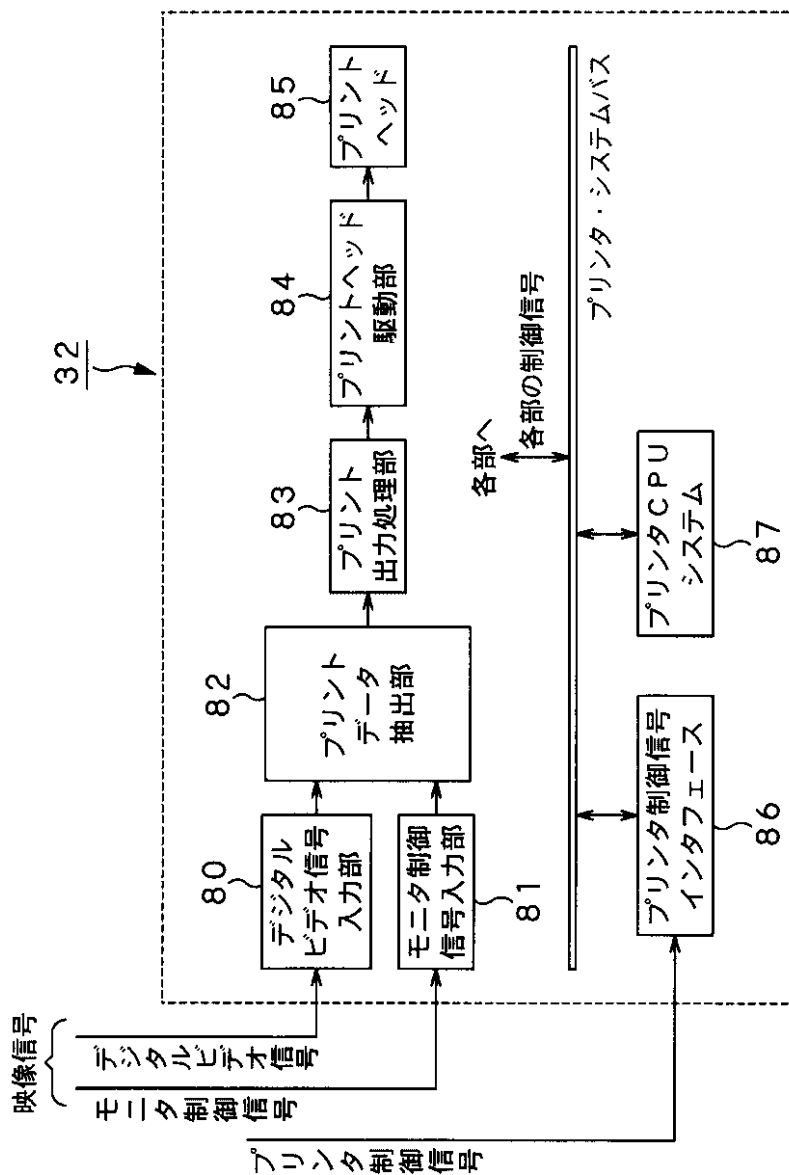
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 9 】



【 手続補正 3 】

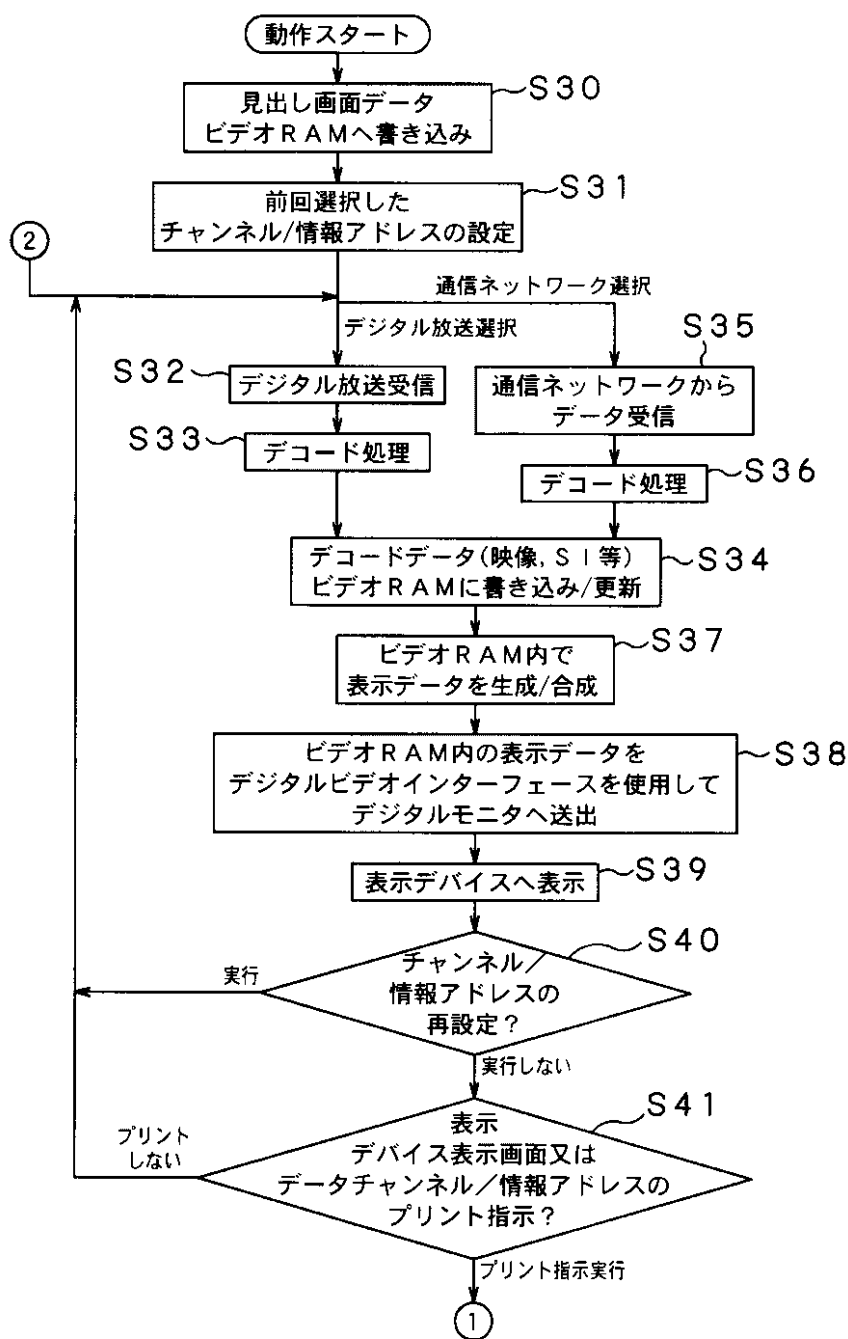
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 1 4 】



【 手続 補正 4 】

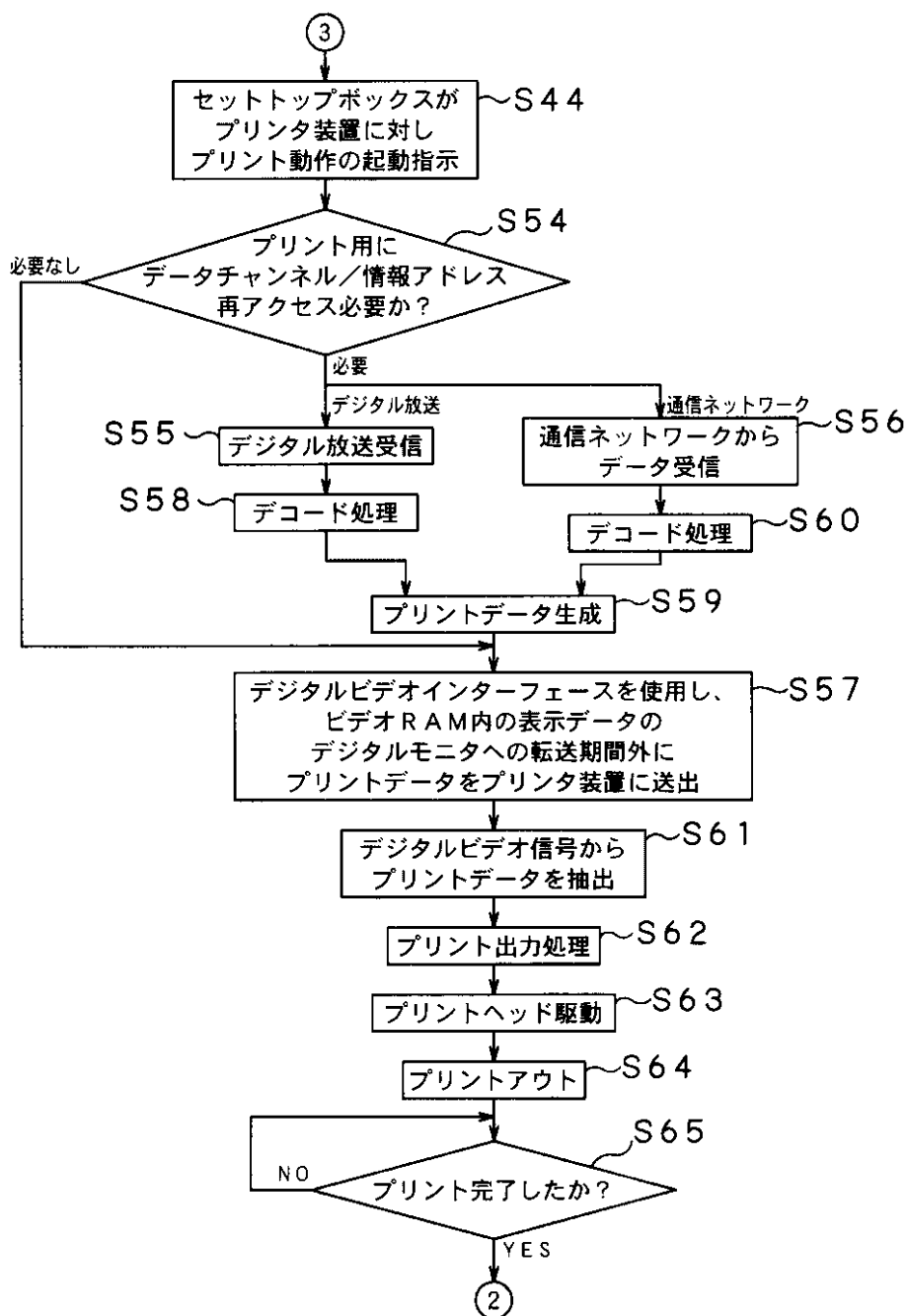
【 補正 対象 書類 名 】 図 面

【 補正 対象 項目 名 】 図 1 6

【 補正 方法 】 変 更

【 補正 の 内 容 】

【図 1 6】



【 手 続 補 正 5 】

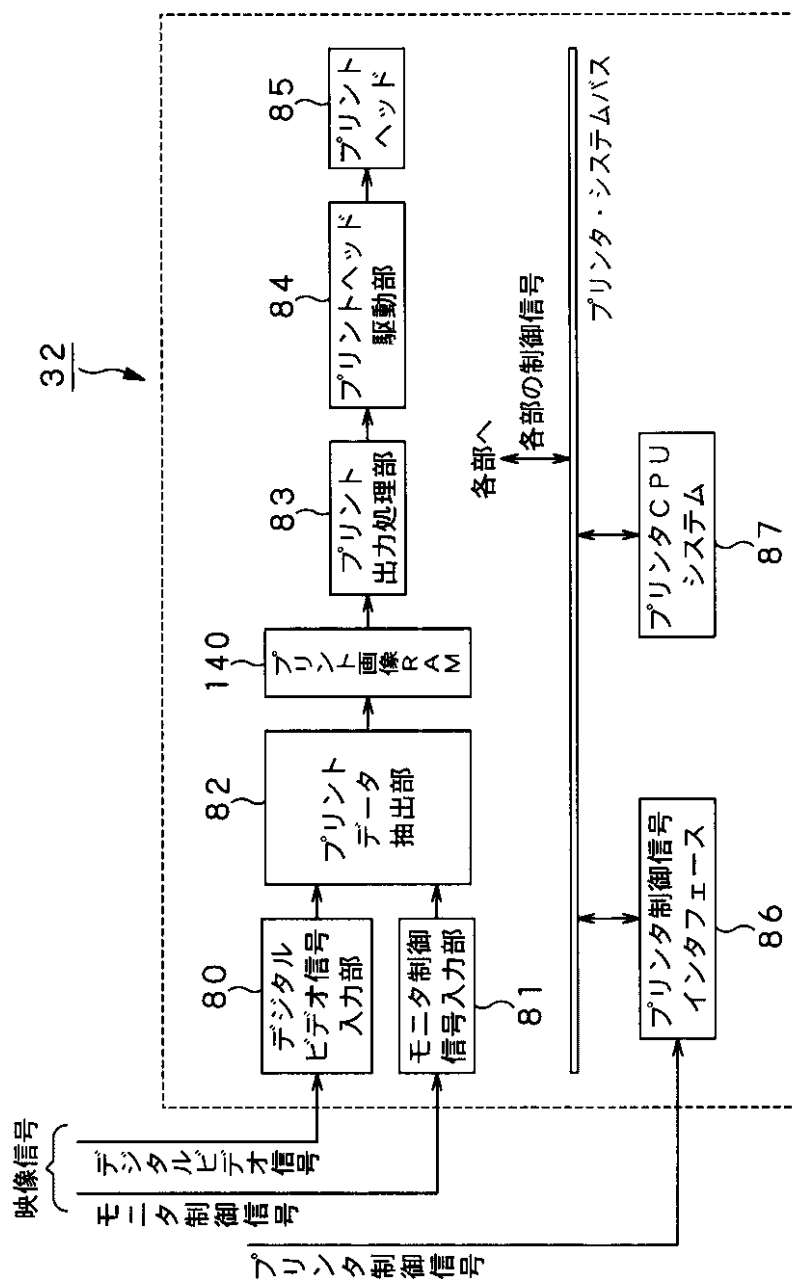
【 補 正 対 象 書 類 名 】 図 面

【 補 正 対 象 項 目 名 】 図 1 7

【 補 正 方 法 】 変 更

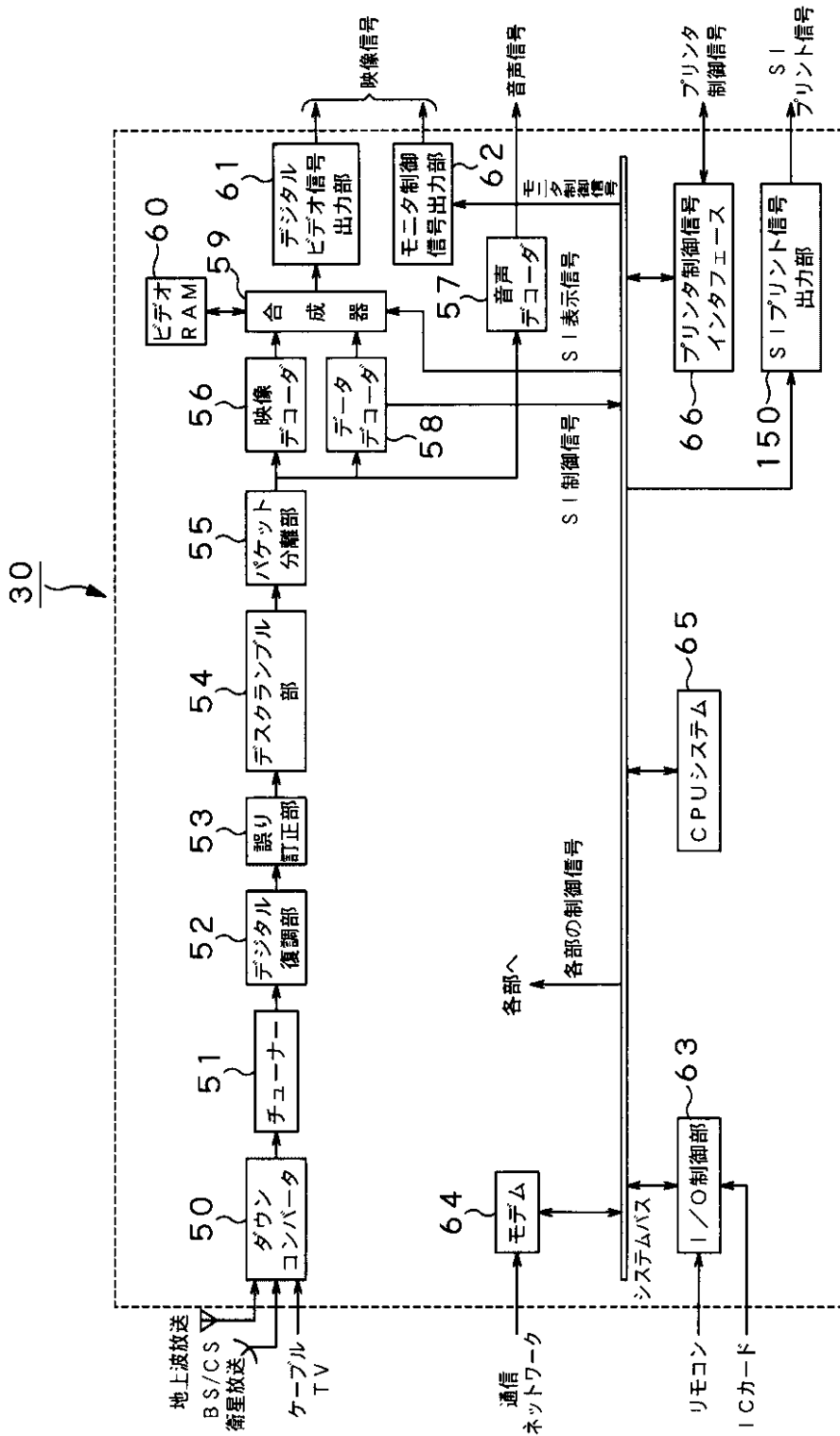
【 補 正 の 内 容 】

【 図 1 7 】



- 【 手続補正 6 】
- 【 補正対象書類名 】 図面
- 【 補正対象項目名 】 図 1 8
- 【 補正方法 】 変更
- 【 補正の内容 】

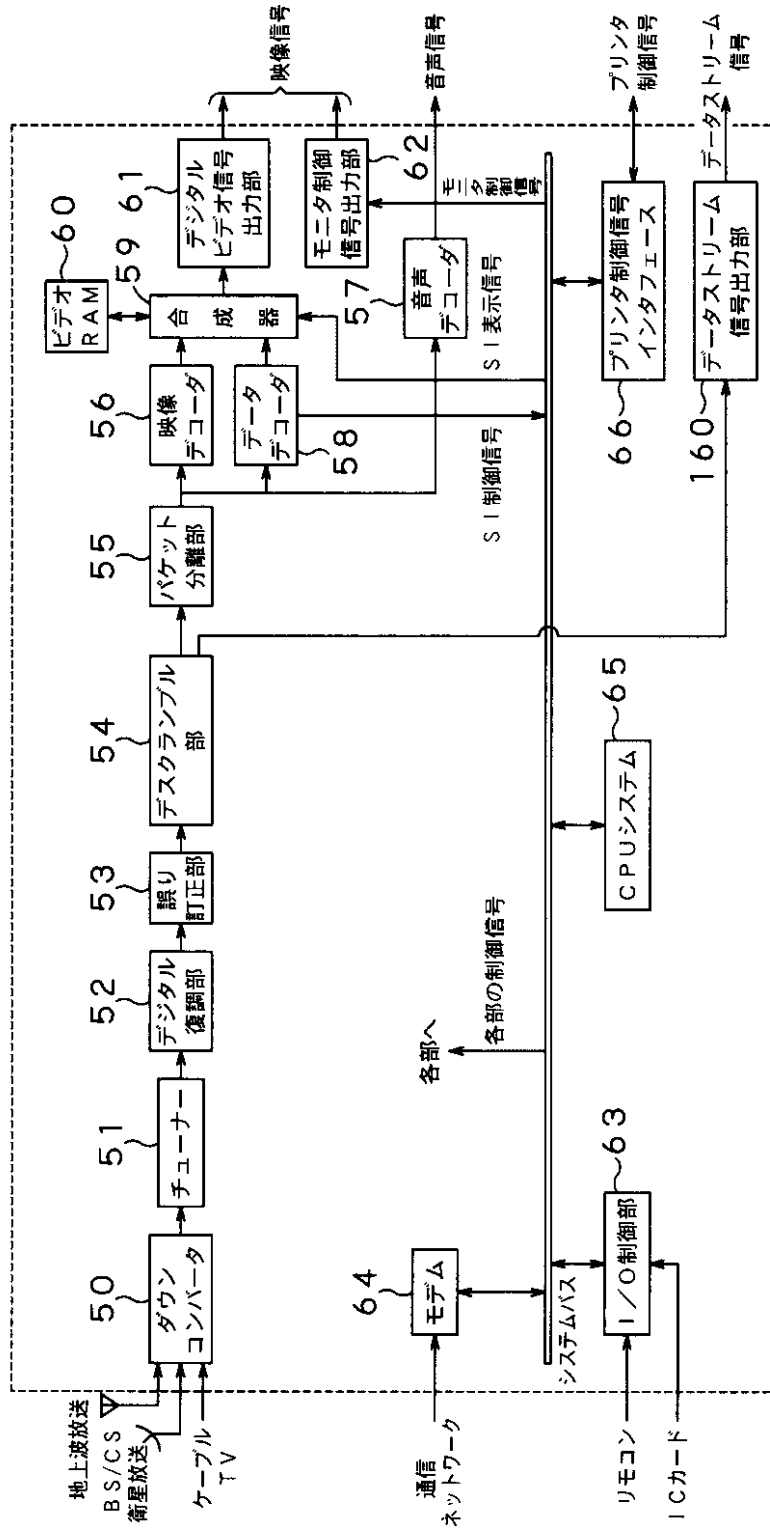
【 図 1 8 】



- 【 手続補正 7 】
- 【 補正対象書類名 】 図面
- 【 補正対象項目名 】 図 1 9
- 【 補正方法 】 変更
- 【 補正の内容 】

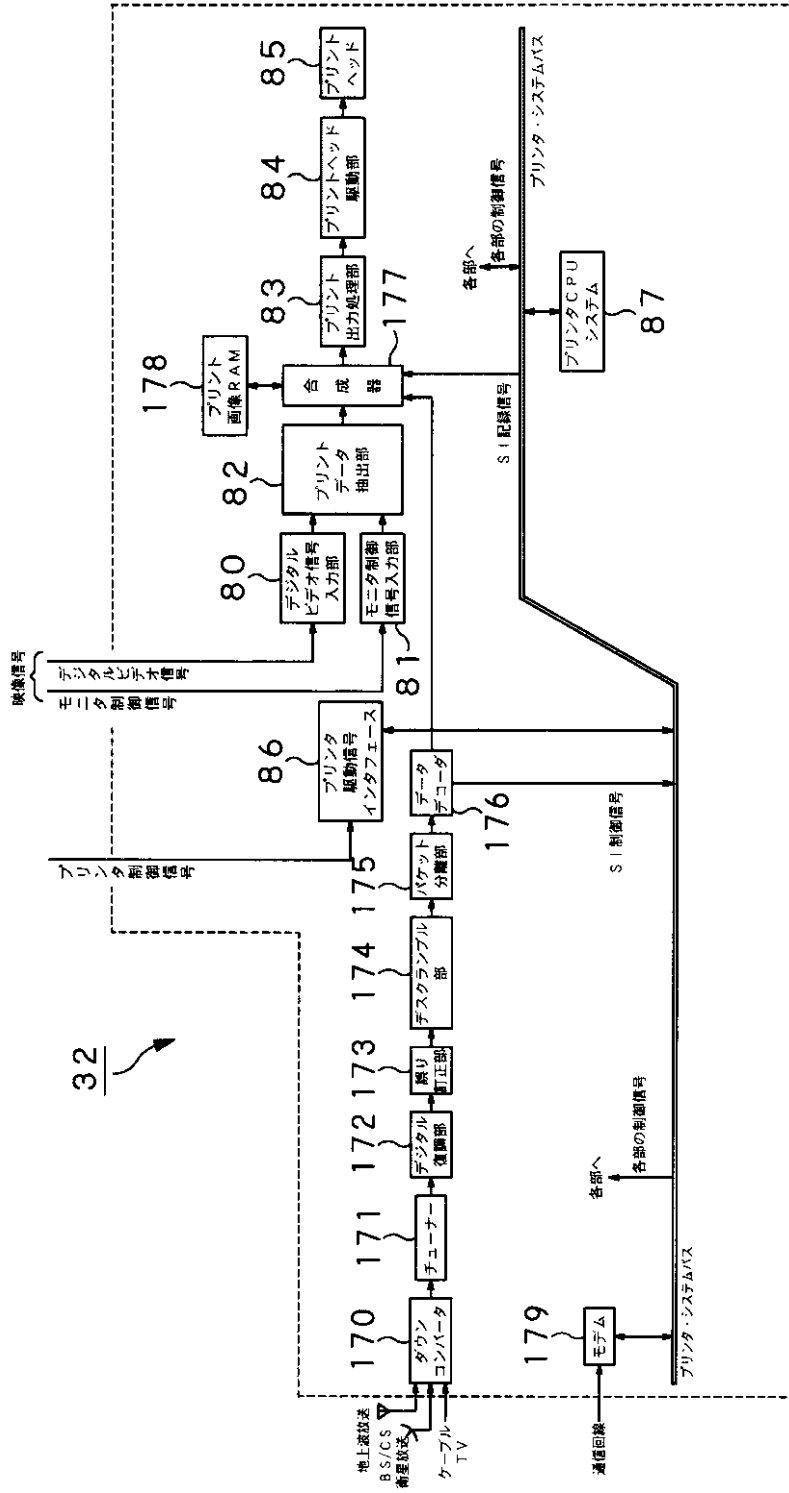
【図 20】

30



- 【手続補正 9】
- 【補正対象書類名】 図面
- 【補正対象項目名】 図 2 1
- 【補正方法】 変更
- 【補正の内容】

【 図 2 2 】



- 【 手続補正 1 1 】
- 【 補正対象書類名 】 図面
- 【 補正対象項目名 】 図 2 4
- 【 補正方法 】 変更
- 【 補正の内容 】

【 図 2 4 】

